

町施設を活用したアーバンスポーツの推進

県とアーバンスポーツの推進に関する連携協定を締結

☎ 都市計画課 まちづくり推進室 ☎(232)4927

3月19日、町は県とアーバンスポーツの推進に関する連携協定を締結しました。

町は、今後の経済発展や人口増加に対応するため、町民の憩いの場や新たな賑わいの拠点として、アーバンスポーツ施設を整備し、令和8年度に開業する予定です。この施設を活用しながら、県と共にアーバンスポーツを通じた交流人口の拡大や競技レベルの向上を図るため、協定を締結しました。

締結式で、吉本町長は「県と一緒に、アーバンスポーツを通じた交流人口の拡大や競技レベルの向上を図っていききたい。将来は、県そして町からアーバンスポーツのオリンピック選手が生まれる、そのような夢を県と一緒に実現させたい」と話しました。

蒲島前県知事は、「町と県が相互に連携し、交流人口の拡大や競技レベルの向上の加速化につながるものと確信している」とあいさつし、また「施設には『くまモン』を使ってほしい」と話しました。

町は、施設の整備や運営管理の準備を進めながら、アーバンスポーツの機運醸成やイベント・大会誘致などにも県と連携して取り組んでいきます。アーバンスポーツ施設などの公園拡張整備やJR新駅の整備、駅を中心とした市街地整備など、町民の皆さまにとって住みやすい豊かなまちづくりを進めていきます。



協定書を手にする関係者(右からくまモン、田嶋県副知事、蒲島前県知事、吉本町長、小牧副町長)



蒲島前県知事から激励を受ける町関係者

協定の主な内容

- 県は、県の関係計画に、アーバンスポーツの推進を位置付け、関係競技団体の育成に取り組む。
- 町は、アーバンスポーツ施設を整備する。
- 県と町は、連携してアーバンスポーツの機運醸成や普及促進を図り、町が整備するアーバンスポーツ施設を活用し、イベントや大会・合宿を誘致・開催するなど、利用拡大に取り組む。

4月6日に岸田首相がJASMを視察した際、TSMCのシーシー・ウェイCEOから「JASM第2工場は菊陽町に建設する予定」との発言があったことを受けて、同月9日に右記会議を開催しました。

会議では、第2工場建設工事のスケジュールや投資内容を共有するとともに、今後の対応方針を確認しました。

併せて、将来を見据えたまちづくりとして、アーバンスポーツ施設などの公園拡張整備やJR新駅の整備、駅を中心とした市街地整備などの必要性についても、再確認しました。

また、県企業立地課の元田課長を招き、半導体産業集積に伴う県の取り組みに



本部会議での町長のあいさつの様子



についても、報告がありました。

これまで、県とは、JASMの進出決定時から、連携・協力してきましたが、引き続き、県および近隣自治体と密に連携し、渋滞対策や地下水保全などに対応していくことも確認しました。



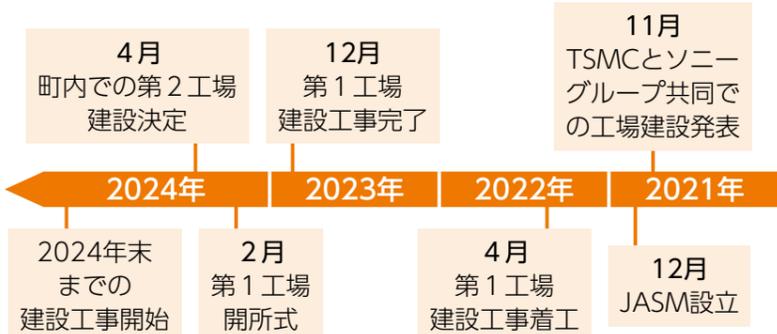
報告を行う県の元田企業立地課長

第7回菊陽町半導体産業企業誘致推進本部会議を開催しました

☎ 商工振興課 ☎(232)2165

今後の町の対応方針

- 第2工場の建設支援
- 周辺道路の整備促進
- セミコン通勤バスの拡充、原水駅転回広場の改修
- セミコンテクノパーク周辺企業の時差出勤などの取り組み促進
- 地下水涵養の推進
- 住民向けの情報発信
- 台湾からの移住者支援
- 台湾との交流促進



これまでの経緯

吉本町長から町民の皆さまへ

今回のJASM第2工場の建設決定は、大変素晴らしいことと受け止めています。

第1工場に引き続き、今回の投資は、半導体の国内生産という、国の経済安全保障や地域への経済効果に大きな役割を果たすことになるため、町として気を引き締め、全力で対応していきたいと考えています。

また、各課題についても、対応方針に基づき、県や周辺自治体などの関係機関と連携の上、しっかり取り組んでいくとともに、町民の皆さまへの情報発信に努めていきます。